

平成17年度神戸市シニアサッカーリーグ結果(最終)

発足10年を迎えた神戸市シニアサッカーは、神戸市社会人リーグよりひと足早く、雪の舞い散る2月6日王子スタジアムにてシニア50リーグ第1戦をスタートし、11月27日 いぶきの森グラウンドでのシニア40リーグのプレーオフ/ABリーグ入替戦で全日程を終了しました。

[最終成績] プレーオフの結果

カテゴリー 順位	シニア40リーグ		シニア50リーグ
	Aリーグ	Bリーグ	
1位	兵庫コリア	ガラクターズ	ナイスミドル
2位	三菱神戸シニア	Kawasaki シニア	神戸FCシニア50
3位	神戸スポーツマンクラブ	神戸市役所	Kawasaki シニア
4位	神戸FCシニア40	アーセナル	フェニックス連合
5位	兵庫フェニックス	甲南クラブ	アーセナルスポーツ
6位	灘FC	アパッチ	灘 F C
7位	-	-	ガラクターズ
8位	-	-	神戸市役所

[プレーオフ/入替戦結果]:11/20と11/27

<Aリーグ>

[1位決定戦] 兵庫コリア(リーグ1位) [1 - 1] 三菱神戸(リーグ2位)
PK(5-4)

1位 兵庫コリア 2位 三菱神戸シニア

[3位決定戦] 神戸スポーツマン(リーグ3位)[7 - 0] 神戸FC(リーグ4位)
3位 神戸スポーツマンクラブ 4位 神戸FCシニア40

<Bリーグ>

[3位決定戦] アーセナル(リーグ3位) [0 - 5] 神戸市役所(リーグ4位)
3位 神戸市役所 4位 アーセナル

[5位決定戦] 甲南クラブ(リーグ5位) [2 - 0] アパッチ(リーグ6位)
5位 甲南クラブ 6位 アパッチ

<A - Bリーグ入替戦>

灘FC(Aリーグ6位) [4 - 0] ガラクターズ(Bリーグ1位)
***灘FCはAリーグ残留**

兵庫フェニックス(Aリーグ5位)[2 - 0] Kawasakiシニア(Bリーグ2位)
***兵庫フェニックスはAリーグ残留**

平成17年度神戸市シニアリーグを振り返って

神戸市サッカー協会関係者、シニアリーグ各チーム代表者をはじめ参加選手の皆様のご指導とご協力により、今年度神戸市シニアリーグを滞りなく終了できましたことを心から御礼申し上げます。

関係者のご協力により、天然芝や人工芝のすばらしいグラウンドも頻繁に使用することができ、選手の皆様も生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいただけたのではと思います。

さて、平成17年度を振り返りますと、以下の特徴的なことがありました。

1. 参加選手の日本サッカー協会シニア種登録の導入

神戸市シニアリーグ参加選手で無登録の一部を除く選手全員を日本サッカー協会にシニア種として正式登録したことです。選手の皆様のご理解とご協力により、220名を越えるシニア種登録が実現し、全国的にも中位の下クラスまで登録人数が増えました。

2. チーム/選手のレベルが向上

神戸市シニアリーグの各チームのレベルが飛躍的にアップしたことです。

【シニア40リーグ】

各チームともトレーニングと若手や有能な選手を加えたことにより、プレーのスピードが格段に速くなり、また組織力がアップし、1種社会人リーグを超える?スピード豊かなレベルの高い好ゲームが繰り広げられました。

((40Aリーグ)) 兵庫コリアが元フル代表等有能な若手とベテランがうまくかみ合い、二連覇を達成しました。

((40Bリーグ)) 前年度1位の甲南クラブが波にのれず、下位に低迷しましたが、ガラクタ - ズがチーム力が向上し全勝で1位となり、入替戦に進出し熱戦を繰り広げました。

((Aリーグ下位とBリーグ上位による入替戦))

Bリーグチームが健闘しましたが、Aリーグの壁を突破することができず、昇格がなりませんでした。

【シニア50リーグ】

リーグ発足2年目となり、各チームとも走力がアップしてスピーディーなゲームが行われました。その中で、兵庫教員に三菱神戸を加えたナイスミドルチームが他のチームを圧倒し、全勝で初優勝しました。

3. 兵庫県下をリードする神戸市シニアリーグ

全国的にもシニア年代のサッカーが盛んになり、各都道府県でシニアリーグを実施、または組織化されてきております。兵庫県においては、各都市協会単位で今年度から組織化に着手したところで、関東、東海、九州からは相当遅れている状況にあります。

兵庫県をリードする神戸市シニアサッカーリーグは、組織化のモデルとして益々活発にしていきたいと思っていますので、ご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

リーグ後記 H17.11.28
神戸市シニア委員長 前田正司